

## ジャムズネット東京メンバーインタビュー 第3回

文章：池田みどり

第3回は、海外生活カウンセラーの福永佳津子さん。「異文化の発想に学び、日常を新しい視点で見直す面白さを伝えたい」をテーマに活動されています。

### ■福永佳津子さん



上智大学卒、在NY6年。マンハッタンビルカレッジで修士号取得。帰国後は海外生活カウンセラーとして講演執筆多数。毎日新聞、朝日新聞国際衛星版、読売新聞等への連載を経て、2006-07年は日経新聞「地球に暮らす」を連載。NHK国際放送のレギュラー、NHK「趣味悠々」講師、東横女子短大講師等を経て、桜美林大学、文京学院大学、城西大学等のエクステンション講座講師。著書に『カルチャーショック』『ある日海外赴任』『海外安全ガイド』ほか。

・福永さんはニューヨークに6年滞在していらっしゃいますが、どのようにその間を過ごされましたか？

駐在員の妻としてニューヨークに行きました。滞在中は子育てが中心の生活でしたが、ある日、知人からの勧めで、「WISH 日本語電話相談室」でカウンセラーとして相談に当たるようになりました。日本人が海外で生活する上でのさまざまな困りごとの相談を受けるホットラインの仕事です。とても有意義な活動だと感じました。さらに異文化適応やメンタルヘルスについて専門的に勉強しようとマンハッタンビルカレッジに通い修士号を取得しました。修士論文はこのWISH電話相談での活動や事例分析がベースになりましたが、これはその後、共著『カルチャーショック』の原案になりました。

・帰国後、海外生活カウンセラーを始められたきっかけは？

一時帰国した折、赴任前の家族に「海外で困りごとを抱えたらWISH日本語電話相談室があります。いつでもご連絡を」と広報してもらおうべく、日本航空の海外生活セミナーの担当者を訪問しました。その際、「帰国されたら日本航空海外生活セミナーの講師をお願いし

ます」との要請があり、海外生活カウンセラーとしての仕事をスタートさせました。また、1992年、バトンリーグでの日本人留学生射殺事件を受け、駐在経験で知り得た危機管理の術を伝えようと、事件直後に「海外で危険な目に遭わないために」と題したセミナーを開催したことで、メディアから注目されるようになり、私の仕事の守備範囲に「危機管理」が加わりました。

#### ・メディアでの活動を教えてください

毎日新聞で『ある日、海外赴任』というコラムを1年間に亘り連載させていただきました。海外赴任にまつわるエピソードを書いたものです。担当記者から文章を書くことについて技術的なアドバイスを得ることができたことは後の執筆活動に大いに力となりました。これは後に、本となって話題になりました。これをきっかけに、朝日新聞ではコラム『海外生活のコツについて』を2年間連載、読売新聞では身辺雑記をテーマとした「つれづれ」を連載しました。また、日経新聞では『地球に暮らす』というタイトルで50本の連載をしました。その他、英検・時事通信などにも連載しました。NHK国際放送(短波放送)ではレギュラーを4年間務めました。

NHK番組『趣味悠々』では“ロングステイ”についての12回シリーズに出演しました。旅人にはサトウサンペイさん、司会・服部真湖さんで、フランス・スペインなどでの海外暮らしにコメント・アドバイスをしました。

#### ・9.11のこと

9.11の事件をニュースで見て、すぐにニューヨークの総領事館に電話をしました。「被災者の家族とニューヨークに住む日本人のためにホットラインを立ち上げるのであれば、お手伝いに伺います」。事件直後、ニューヨークへのフライトはすべて欠航になっていましたが、もっとも早い便でニューヨークに飛びました。総領事館で「心のケア相談室」が事件後6日目に開設され、お手伝いをしました。読売新聞では『ニューヨーク日誌』というコラムで、実際私が見た事件後のニューヨークの様子を現場から毎日連載しました。

#### ・理事をなさっているいくつかの団体を教えてください。

(財)ロングステイ財団は、経済産業省の認可を受けて設立された公益法人です。“ロングステイ”とは、特に退職後、海外に移り住む方々の長期海外滞在型余暇のことを指します。より多くの方にロングステイを知っていただくための啓蒙活動をしています。

★ロングステイ財団ホームページ <http://www.longstay.or.jp/>

(社)海外邦人安全協会は、外務省の外郭団体にあたります。主に企業などで、赴任をさ

れる方々のために、海外安全情報を提供しています。

★JOSA 海外邦人安全協会ホームページ <http://www.josa.or.jp/>

NPo 法人「国際人をめざす会」では、商社マンや外交官など海外で活躍された方々が講師となって次世代を担う小中高生たちに豊かな国際経験を伝える会です。

★「国際人をめざす会」事務局 TEL:03-3530-7806 E-Mail[cosmoclb@khaki.plala.or.jp](mailto:cosmoclb@khaki.plala.or.jp)

また地球暮らしの面白さ、ダイナミックさをお話するため、社会人向け講座、大学でのエクステンション講座などでも講義を持っています

#### ・ますます国際人としての資質が求められる時代ですが、アドバイスはありますか？

日本人は初対面の人に対して社交べたなのが気になります。場にあった会話を選び、場を捉えて振る舞える人になってほしいと思いますね。また、自分の意見を持って自分の言葉で言えること、そして人の考えを聞ける耳を持つことも必要です。つまりは、コミュニケーションの力のあるなしが国際人の資質のひとつとして大切だと考えます。

#### ・ジャムズネット東京に期待すること

9.11 の時、多くの専門家が応援の手をあげたのですが、人と人をうまくつなぐことができませんでした。また NY 在住、非在住の医療従事者がお互いをよく知らないことで結束がスムーズでなかったこともとても残念なことでした。私の専門はこれ、いつでも力を貸しますという連携プレーを機能的にするためには、普段から折につけ互いの顔を知り、さらには情報交換の場を積極的に持つことが必要です。その思いが見事に形になったのがジャムズネットではないでしょうか。医療に関係ある人もない人も、その人ならではのセンスとパワーで、結束の回路を強くかつ長いものにして下さい。さらにはここに集う人たちの人間的な魅力にも大いに惹かれます。仕事のための結束ではなく、人生のいろいろな舞台でリンクし合いたいと思っています。